

## 【つくば市】行政情報発信の即時多言語化

### 課題の背景

筑波研究学園都市を中心に新旧住民、外国人研究者など、人種、年代、言語、文化、宗教などの属性やライフスタイルが異なる市民が増加している（市内に約 140 か国の出身者、約 1 万人が居住）。これは歓迎すべきことである一方、行政リソースが限られる中、多様な市民ニーズを的確に把握し、行政サービスを効率化することが急務となっている。

行政からの情報発信に際しては、住民への情報伝達が公平に実施されなければならないが、現状、多言語ホームページや SNS 等の情報発信媒体において、各言語担当者による翻訳作業後に情報が掲載されるため、掲載内容の充実度、掲載時間の差が生じてしまっている。

特に、災害発生時においては、情報伝達の内容・到達時間の差によって安全上の危機が生じることがあり得るため、これを防ぐことが急務となっている。

### 課題のゴール

- ・日本語以外を使用する住民へ多言語の行政情報発信を正確かつタイムラグなく行い、適切、公平な行政サービスの提供を図る。

### 求められる要件（機能要求・関連基準等）

- ・日本語を多言語に高精度で自動翻訳する技術、アイデア（言語数は応相談、10 言語程度及びやさしい日本語を想定。）
- ・日本語文章により情報発信を実行した際、即時に多言語に翻訳し発信できること
- ・翻訳者による翻訳と同等精度であること
- ・人種・文化等、多様性に配慮していること
- ・地名など固有名詞の翻訳についてカスタマイズができること

### 協力事項

- ・多言語情報発信状況の共有
- ・国際交流協会等を通じたモニターの紹介（数十名程度）  
（実証結果が優良であれば）優先調達機会の提供
- ・取組内容の評価